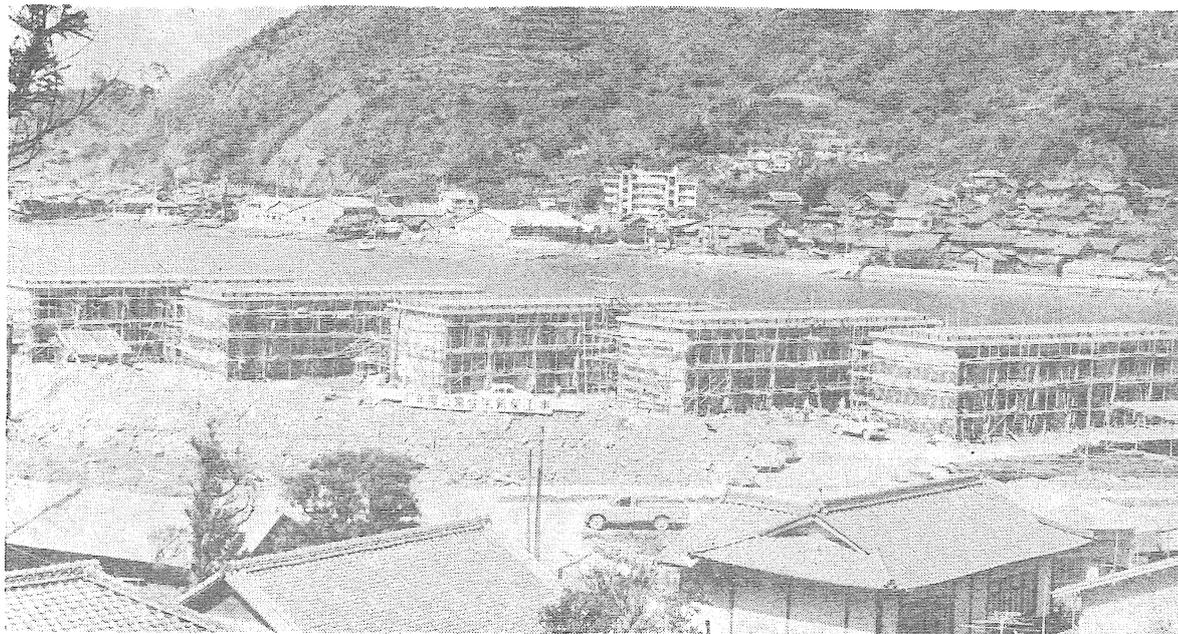


# 広報 なかがはま 5月号



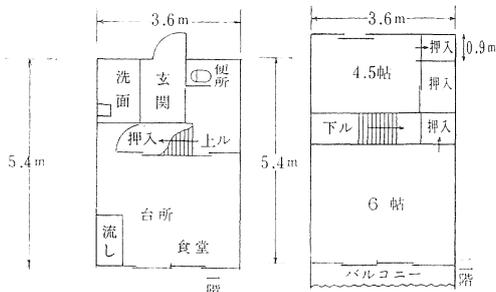
## 町営住宅もうすぐ完成!!

入居者を募集、家賃七千円

小浦に建設している町営住宅五むね三十戸がもうすぐ完成、六月一日から入居できる段取りで、町ではさる四月十二日、町内全域に入居者募集の回らん文書を出すとともに有線放送などでも入居希望者を募っています。

この住宅は、いわゆる住宅難を解消するため町が四十七年度からスタートさせた大規模住宅団地建設計画に基づいて建設をすすめているもので、この五むね三十戸はその第一期工事ですが、計画では今年度さらに第二期工事として二むね四十八戸を建てることとしており、五十二年度までには総事業費約五億円をかけて、約二百三十戸をつくることにしています。他市町村に限らず私たちの町でも住む家に苦勞をしている人は数多いだけに、この事業はぜひ必要なのといえるでしょう。

ところで近く完成するこの住宅は、簡易耐火二階建て一むね六戸



建てのもの五むねで、総事業費六千四百七十八万円をかけて完成するもの。

内部は図のような間取りのもの、台所は流し台つき、洗面所は「置きぶろ」の持ち込みができるだけのスペースが取ってあります。一戸の延べ面積は四十四・九平方メートル(十三・六坪)

### 入居者募集要綱

入居できる人

○町内に住所か、または勤務場所がある人。

○現在住む家に困っていることが明らかでない人。

○現在家族が二人以上の人、または結婚やその他の理由で二人以上になることが明らかでない人。

○敷金として家賃三か月分が納められる人。

○申込み者より収入が多い町内居住の保証人二人がある人。

○収入が標準に適合する人。(例：四人家族が一人の収入で生活している家庭の場合であれば、月収六万円以上八万八千円以下であることなど。くわしくは申込みの際おたずねください)

(なお今回は現在町営住宅に入居している人も申込みできます)

申込み受付期間

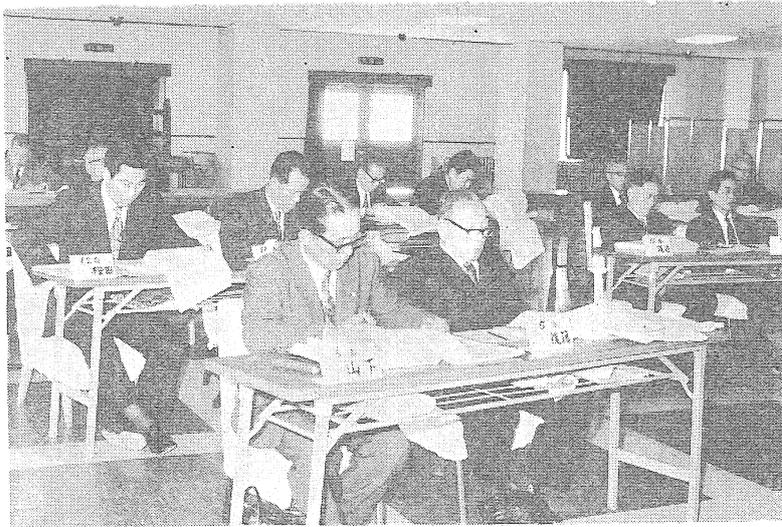
○四十八年四月十六日から五月十五日まで。

申込み方法

○町営住宅入居申込み書(役場受付および連絡所で交付)と収入証明書(雇用者または役場などの証明)を持参し町役場総務課担当係へ面接して申し込む。

【写真】完成間近の町営住宅

# 内容充実へスタート



議案を手に48年度の長浜町政を審議する各議員

四十八年長浜町議会第一回定例会が三月十六日から二十二日までの七日間の会期で開かれ、事業計画や予算など、四十八年度の長浜町政の計画ができておりました。  
こんどの議会上程された議案は四十八年度予算ほか条例改正案など全部で二十七件でしたが、いずれも原案どおり可決されました。町長の四十八年度施政方針、可決されたことの概要おもな一般質問の模様を紹介いたしますので、四十八年度の長浜町政のあり方を判断ください。

## 町長の施政方針演説概要

議案審議の前に  
町長は四十八年度の施政方針を述べました。その内容の概要はつぎのとおり。

### 育は手段



施政方針をのべる町長

長浜町はこれまで、地域の後進性を脱却することを最大の目標として基盤整備事業を中心とした先行投資型の開発政策をとってきた。初期の目的にはまだまだほど遠いものがあるが、一応その大骨となる基盤づくりは一段落した。  
四十八年度は、この大きな基盤の中味となる部分的基盤を整備すると同時に、それぞれの基盤による中味をそそぎ、内容充実に向けて方向を転換するスタートの年であると同時に、さらに新しい視点から第二次計画を樹立しなければならない年でもある。

四十八年度施政の基本的目標はまず第一に「町民の生活と福祉の向上」第二に「豊かな生産を求めて働く地域社会づくり」、第三に「住民参加の行政推進」である。

「年度」……四月一日から翌年の三月三十一日までの期間  
「可決」……議案をよしと認めて決めること  
「歳入」……収入（はいるお金）  
「歳出」……支出（使うお金）  
「一般会計」……特別会計以外のもので  
「特別会計」……特定の事業をおこなう場合  
あるいは特定の歳入をもって特定の歳出にあてなければならぬ場合に設けた会計

# 11の一年の予算成立

まず、今年度一年間をまかなう予算がつきのとおり決まりました。

予算の組み方は、今年度も総合予算主義（一会計年度に必要な予算を全部、当初に計上しておく方式）でおこなっておりません。

- ▽一般会計 十四億四百七十八万七千円
- ▽国民健康保険特別会計 一億七千九百四十三万五千円
- ▽国民健康保険直営診療所特別会計 九百九十九万七千円
- ▽港湾施設特別会計 九百三十二万二千円
- ▽青島航路特別会計 八百二十四万八千円
- ▽農業共済事業特別会計 一千五十六万五千円
- ▽水道事業特別会計 七千六百六十九万九千円
- ▽工業用水道事業特別会計 七千七百三十九万二千円
- 支出予定額 一千二百六十九万七千円
- 収入予定額 一千三百五十八万五千円
- ▽住宅改修資金貸付特別会計 三百六十八万一千円

## 福祉は目的、生産や教育

### 生活と福祉の向上

特に、老人や子ども、身心障害者など弱い立場の人がやっかい者やじやま者扱いにされないような教育推進に力を入れた。また、真に援助を必要とする人のためには施設や制度の充実をはかってゆきたい。

長浜町振興基本構想の根本目標の第一「楽しく住みよい町づくり」、第二の「豊かで働きがいのある町づくり」、第三の「美しい人情と文化の町づくり」の高揚を待って、はじめて実を結ぶものであり、最近よく聞かれる「生産第一主義より生活優先主義」ということを簡単にうのみにして生産を放棄するような考え方は高福祉の実現はとうてい不可能である。福祉は目的であり、生産や教育は、これを達成するための手段であることを明確にしてすすみたい。

### 豊かな生産を求め、働く地域社会を

農業は農外所得を求める形からさらに進んで、農業自体の体質の改善と生産性を向上してゆく方策を積み重ねる必要がある。また、

内容を充実するため、細かい事業を追加してゆかなければならぬ。

林業も経営の向上措置を継続的にすすめなければならぬが、双方とも根本的にはもっと大胆な体質の改善、つまり、消費需要を充たすための生産だけでなく、レジャー農業、観光林業、園芸作物の導入など、人間の情操生活にうおいを与えるようなものへの転換を真剣に考えなければならぬ。

漁業については、内海沿岸漁業にかんする限り、観光、農林業、商業との結びつきを考慮した広い範囲の新しい経営形態のころろみが必要だと考える。また、とれた魚貝類を市場に任せてしまいう現在の漁業のあり方は、すでに限界にきているので、どのように転換すべきかの検討は、きわめて重要である。

商工観光については、総合的には飛躍的な進展が期待されるが、一面では、新時代に真にマッチした歩みかたとれるかどうか重大な関心事となる。このうち商業については共同仕入れ、共同販売態勢などの問題などについてさらに深い検討も必要であり消費者の要求を満たすための新しい工夫と研究がおこなわれるよう態勢の整備に努力したい。また、工業については、現在開発の波にのり活発に動いているが、各業種間、誘致企業と地場産業、転入住民と現住民との融合をはからなければならぬ。

### 住民参加の行政

コミニティー（地域社会の連帯

性）の向上に努力し、家庭教育、社会教育を活発にすすめることによって、まず政治への住民参加の資格である健全な知識、純良な人情の培養に力をそそぎたい。四十八年度は、第一次計画の内容充実と同時に、新たな視点からの第二次計画ともいえるべきものを樹立すべき年度でもあるが、今後の本町の重点課題である①第二次工業開発問題②役場新庁舎、中央公開堂、下水道終末処理場、総合病院、母子健康センター、総合運動公園、総合福祉センターなどの建設問題③工業開発や大橋架橋などに関連した都市計画および土地利用計画の問題④有線テレビの問題などと合わせて、このような重要なものについては住民参加のもとに決定し、これにもつづいて計画を作成してゆきたい。

### 予算

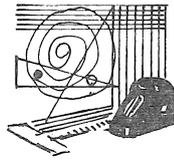
以上のような考えや基本方針のもとに四十八年度予算を組んだが今年度は政府の国債政策の余波を受け、財政面では合併以来もっとも厳しい年となるようだ。しかし、いろいろな無理を重ねつつも苦心を払い、冗費は思いきって省き、効率の大きな財源使用をはかった。乏しくても福祉のためにはできる限り最大の投資をするという態度では近年にない形だと考える。

# 予算の使いみち今年度の特徴

## 一般会計

### 総務費

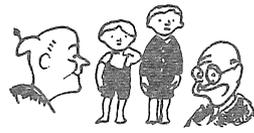
一般管理・文書広  
報・有線放送電話・  
財産管理・企画・事  
務連絡・生活行政推  
進・徴税・戸籍住民  
登録・選挙  
などのこと  
に使うお金  
のこと。



### 集会所建設二つ

#### 有放自動化機器も設置

コミュニティー（地域社会の連帯性）を向上させるには集会所は必要な施設であることから、今年度は戒川の檜谷地区、白滝の小長浜地区、下須成の新造替地区に集会所を建てます。その予算合わせて約八百万円。また、昨年度着手した有線放送電話自動化事業は、今年度は上老松に自動交換所を建設するとともに交換機器を設置してゆきます。その予算五千六十万円。完成は昭和五十年春の予定。



### 民生費

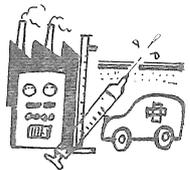
老人福祉・児童福祉・母子福祉・国民年金・生活保護・災害救助などに使うお金のこと

### 喜多灘保育所を改築

#### ゼロ歳児医療費を助成

現在の喜多灘保育所は十分な保育ができる施設でないため、約七百七十万円をかけて改築します。また、ゼロ歳児の医療費を無料化し個人負担分を町費でまかないます。老人福祉については、今年度からねたきり老人なども医療費を無料化したため、町費の負担が大きくふくらむ見とおしで二千七百万円もの予算を組んでいます。その他を合わせると老人福祉費総額は三千六百万円にもなっています。なお、今年度は老人用健康用具も購入します。

老人ホームの擁壁が一部不良のため二十万円をかけて改良します。児童手当は約一千四百六十万円を見込んでいます。



### 衛生費

保健衛生全般・公害防止・汚物処理などにお金を使うこと。

### 公害防止策など

亜硫酸ガスとばいじんの自動測定機（二百七十万円）や自動風向風速計を購入して設置するほか、公害対策審議会委員や公害モニターの研修旅費も組んでいます。さらに今年度は農林水産物の公害事前調査をおこなうため、その委託料三十万円を組んでいます。また海上での油災害防止のため、オイルフェンス五百メートル分や吸油マット二千枚を購入するとともにそれらの格納庫をつくります。その予算百五十万円。八多喜にある大洲市と喜多郡内各町村が共同で利用しているし尿処理場を改良することになりましたのでその改良費負担金を今年度は約五百三十万円出します。



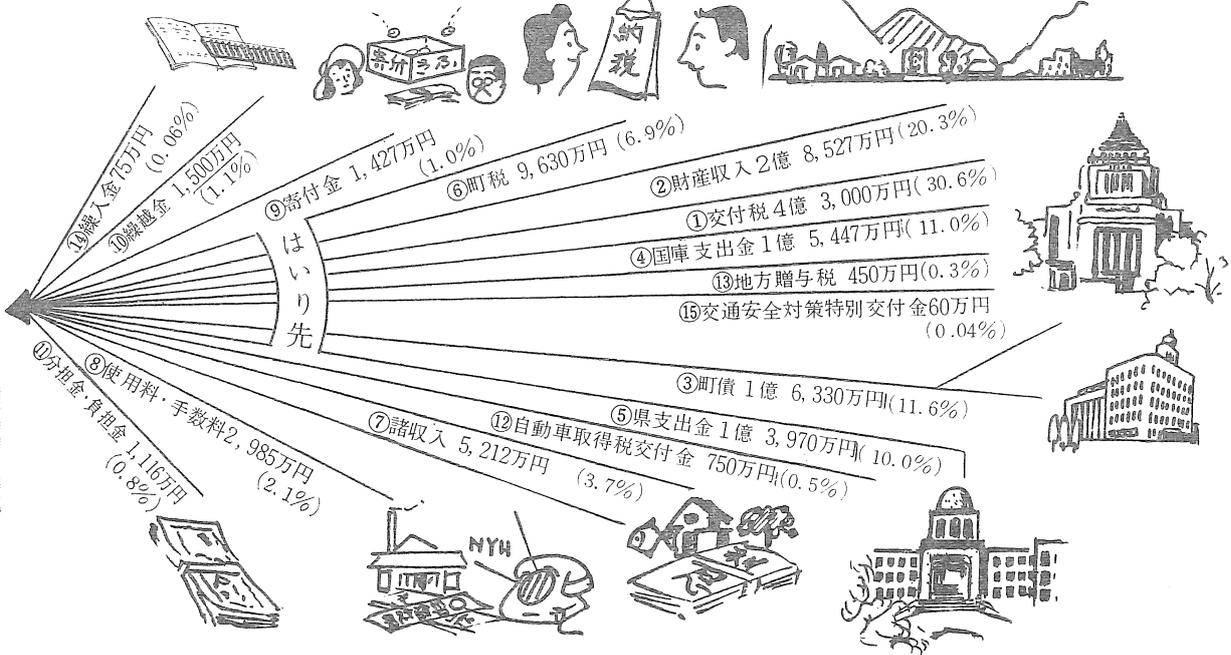
### 農林水産費

農業・林業・漁業関係に使うお金のこと。

### みかん加工場を建設

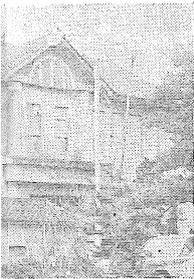
漁港、農林道を整備育成、振興費も補助

農業関係では、四十五年度から



### の歳入歳出

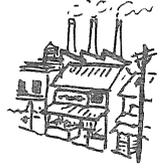
4捨5入  
数字は金額の順位



おこなっている農業構造改善事業で今年度は農協のみかん加工場を建設します。場所は晴海団地で建設事業費は当初予算では約四千万円を計上していますが、完成段階では約二億円になる見込みです。また、須沢農道、豊茂のヤシノオカ水路を改良するほか上老松排水路を新設します。このほかブルドーザーによる園内作業道や農道の整備をおこないますが、昨年度からブルの使用料を無料にしたためその運営費がすべて町費支出となります。

林業関係では、四十六年度からおこなっている林業構造改善事業で今年度はブルドーザー一台を購入して活躍させるほか、豊茂の刈屋線林道の取付けを昨年にひきつづいておこないます。また、戒川の峯山線、白滝の滝山線、鶴首(豊茂)櫛生線、櫛生豊茂線林道をつくります。治山治水事業は白滝の小谷と豊中地区を新規に、また小浦地区を昨年度にひきつづいておこないます。

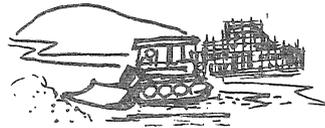
漁業関係では、喜多灘、櫛生、出海の漁港を昨年度にひきつづき建設してゆくほか青島漁港のしゅんせつと船揚場の改良をおこないます。また、長浜沖に並型魚礁百三十個、沈船魚礁七隻、たこつぼ魚礁一万三千個、出海沖に並型魚礁二百個などを投入してゆきます。このほか果樹不良品種の更新、林業後継者の育成、花木生産の振興、にんにく生産の振興、桑園防除対策、畜産環境衛生事業、はぜ生産対策、県外出漁対策などにたいしての補助をつづけてゆきます。



**商工費**  
商業・工業・観光関係に使うお金のこと。

**街路灯設置など**

白滝の柿早地区や喜多灘地区などへ街路灯を設置してゆくことにしており五十万円の予算を計上しています。このほか商工業の共同化対策や業種別組合の育成のための補助金を出すほか、商工業優良従業員の表彰にたいしても補助金を出してゆきます。



**土木費**

道路・河川・港湾・下水道・交通安全施設などに使うお金のこと。

**住宅48戸を建設**

町道には一億円

住宅難を解消するため小浦地区への公営住宅建設は、昨年度の三十戸につづいて今年度は約七千八百万円の予算で四十八戸を建設する予定。もちろんこれに付随した道路や下水道の取付けもおこないます。また、道路関係では約一億円を投入して町道喜多灘白滝線、谷上(豊茂)上須戒線の舗装、戒川の豆柳線、榎谷線、白滝柴線、白滝の田の湖線、須沢線を改良。



**消防費**

**充実**  
豊茂の朝日、郷、櫛生の藤白、中峯、白滝の名の城地区などへ防火貯水そうを設置するほか、長浜分団第一へ可搬ポンプ一台を購入。白滝の田の湖と戒川地区のポンプ置場を改修。そのほか消火栓の新設や改良してゆくとともにホース十五本と吸水管十本を購入することにしています。これらの予算約三百四十万円。

**教育費**



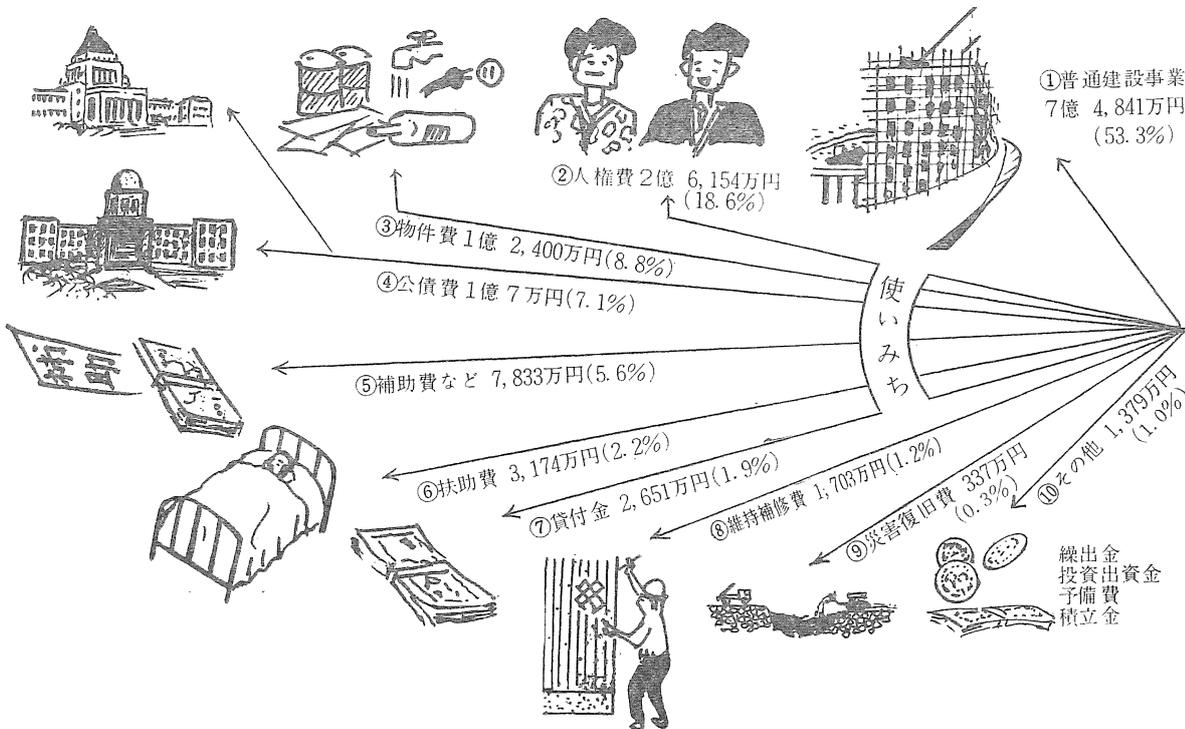
学校教育・社会教育の全般に使うお金のほか、水族館、公民館、保健体育、校舎建設などの費用も含まれます。

**喜多灘小改築**

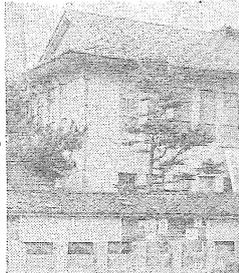
大和小プール建設など

喜多灘小学校を鉄筋コンクリート(次ページ)

出海郷の峠線、大屋線、大平線を改良および舗装するほか、柴の道上老、櫛生高峯線、上老松線を新しく取付けてゆきます。交通安全対策として、ガードレールやカーブミラーを必要か所に設置してゆきます。



14億 479万円  
(金額は千円単位  
①②など円内数)





### 災害復旧費

#### 残り5か所 で完了

須沢の流導堤、大久保農道、下村農道、出海林道、峯今坊林道を復旧します。其経費約三百四十万円。なおこれが終れば一応災害復旧事業はなくなりす

ト三階建てのものに改築することにしてあります。改築事業費約八千二百万円。また、大和小学校プールをつくりす。大きさは白滝小プールとほぼ同じ規模で二十五メートル四コースのもの、建設費一千五十万円。このほか豊茂小学校に百三十五万円を夜間照明施設を取付け、戒川集会所に百二十六万円を調理室を、豊茂公民館に三十五万円を倉庫をつくりす。

それから今年度は「町花木」、つまり長浜町を象徴する花や木を定めるとともに、これの育成をはかるため二十万円の予算を組んでいます。また、ことしも青年の育成めざして勤労青年の国内研修をおこなうことにしており、その旅費など六十三万円を計上。その他各学校の教材や備品の整備充実をはかることにしており、机やイス長小アナライザー提示装置、OHP、スクリーン、そのほか一に約八百万円を計上。さらに教員の宿日直廃止を実施した場合における無人化対策として、保管庫などを設備してゆくことにしています。また長浜中学校に六十五万円をサーキットレーニング設備（基礎体力をつくる機具）を設置するほか文化財の指定および保護費も計上していきす。

### 特別会計

#### 旧長浜・白滝など 上水道施設を大幅改良

特別会計では、今年度は水道会

## そのほか決まったこと

計で上水道施設の大幅改良をおこなうこととしており、旧長浜地区の配水管、白滝上水道の本管および支管を改良するほか、晴海団地に上水道を新設します。その経費合わせて約三千万円。

なお、その他の特別会計については特別なことはありませんので略します。

### 0歳の赤ちゃんも無料

#### ＝医療費＝

「長浜町零歳児医療費助成条例」を定める案が可決され、この四月一日からゼロ歳児の医療費も無料にするつもりです。

つまり、ゼロ歳児の医療費の個人負担分（国保三割、健保などは五割）は、県の協力を得て全額町費でまかなうことにしました。

ここでいう「ゼロ歳」とは、誕生日から誕生日前日までをいうのではなく、「誕生日月」をさしていいです。つまり「日」単位でなく、「月」単位で該当児を決めています。したがって、たとえ五月一日が満一歳の誕生日という赤ちゃんの場合ですと、五月三十一日まで無料ということになります。

ただし、たとえば該当する赤ちゃんが交通事故などにあり、その加害者が医療費を賠償するといった場合など、すなわち第三者の行為によって医療を受けなければならなくなり、その第三者が医療費を全額賠償するといった場合は、町

費の助成はありません。しかし、これが一部賠償という場合で、その額が実際にかかった医療費に足りない場合は、不足分についてだけ町費でまかないます。

「町費でまかなう」ことを、ここでは「助成」といっています。この助成を受ける、つまり、無料で医療が受けられるためには手続きが必要で、該当児がいる方は、町に申請をすれば、定められた規則によって助成が受けられます。（以上議決事項）

ところで、この条例の可決にもない、町ではさっそくこれを運営してゆくために必要な規則をつくりました。その要点はつぎのとおり。

まず、該当する赤ちゃんがこの制度を利用し無料で医療を受けるためには町が交付する「零歳児医療費支給資格証」と、この資格証を交付する際いっしょに渡すことになる「零歳児医療費請求書」、そして該当児が加入している保険の「保険証」の以上三つが必要で、資格証は、ことし四月一日以後の出生者については役場へ出生届を出す際、また、該当する赤ちゃんが町外から転入してきた場合は転入届を出す際に資格証の登録をすれば交付することに

### 老人医療費 障害者であれば 65歳から無料

満七十歳以上の老人の医療費を無料にするというのを定めている「老人医療費給付条例」の一部改正案が可決され、この四月からは、満六十五歳以上の方でも国民年金法にいう一級または二級の該当する身心障害者であり、つぎのことに該当する人は医療費を無料にすることになりました。

①…食事、入浴、用便がいづれも自分ひとりではできず人の手助けが必要な方で、しかも過去三か月以上常に寝たきりといった状態の方。

（以上議決事項）

ところで、この条例の可決にもない、町ではさっそくこれを運営してゆくために必要な規則をつくりました。その要点はつぎのとおり。

まず、該当者の方が無料で医療を受けるためには町が交付する「老人医療費給付資格者証」と、該当者が加入している「保険証」が必要で、資格者証は町に「病床証明書」というものを提出し、資格の登録をすれば交付することになります。（病床証明書用紙は役場衛生課にあり）また「国民年金法にかかっている程度の障害者である」ということの証明は医師

### 34本を町道に

つぎの道路は町道に認定されました。

- 黒田地区 黒田線、新道線。今坊地区 橋立線、今坊日の浦線。
- 出海地区 出海中腹線、音地線。
- 大和地区 柿の久保線、下平環状線、下平線、大久保線、猪の尾刈屋線、中央郷線、朝日本村線、松谷線、久保田線、朝日線、松井線、合上線。白滝地区 加世線、大枝線、都梅線、柴日の浦線、柴本村線、寺下線、柿早線、柴大越名の城線、大戸線一の瀬線。その他 上老松叶松線、無事喜地叶松線。晴海地区 晴海一、二、三、四号線（これはいづれも新設）

### 議員や委員の報酬など改定

長浜町議会議員、教育委員、農業委員、特別職員の報酬などの条例の一部改正案が可決され、つぎのとおりになりました。

- 町議会関係（月額） 議長六万円、副議長四万五千元、議員四万円。
- 教育委員会関係者（年額） 委員長十一万円、委員九万円。
- 農業委員会関係者（年額） 委員長五万円、委員四万円。

特別職関係者（年額） 町議会議員から選任された監査委員六万五千元、知識経験の監査委員八万五千元、選挙管理委員長一万三千元、同委員一万一千円、固定資産評価審査委員勤務一日につき二千五百円、ほか省略。

今議会での一般質問は、一宮泰忠議員、二宮金之助議員、小川儀三郎議員、堤正和議員、洲尾勝利議員の五人が質問をおこないました。そのおもな模様はつぎのとおり。

**第二次開発は？**

質問：第一次産業（農林漁業など）の先ゆき不安を考えると、充実した兼業化が望まれるが、長浜町の場合、今の開発程度のもので十分とはいえない。第二次開発を手掛けるべき時期にきているのではないかと考えるが、町長は残り任期一年九か月の中で、このことについてどのように考えているか。一宮

答弁：第一次産業の現状をみると言語に絶するものがあり、私たちが行政側も責任を痛感する。このような情勢においては思い切った方策の転換が必要であることから長浜町はこれに一早く着手した。今後もある程度の工業化の方向を継続してやってくという事は町政の基本として誤りのないことだと考える。したがって四十八年度は、できればちみつま検討と研究を集合して次期開発の計画を策定したい。そして議会を中心とした町民と広く議論をたたかわし、お互いの知恵をしぼり、町住民の意志によって決定してゆくべきではないかと考えている。

なお、町を發展させてゆくという方法は、そう三つも四つもあることではないので、町長が変わると変わらざるにかかわらず、この方向はそう変わるものではないと考える。町長

**構想転換修正  
すべきでは…**

質問：瀬戸内海環境保全の動向からして、工業開発の基本構想は転換修正すべきではないか。小川

**公害防止施設  
見学できるか**

質問：日本揮発KK（東京）に依頼した長浜町の企業診断の結果はどうなっているか。小川

答弁：四月の中ばまでには資料がはいる予定だ。また、この診断はすべて町費でやったのだから、議員にも資料を配って検討していただくことにしている。町長

質問：晴海へ進出した企業の公害防止施設を、公害担当の町職員と同行して見学させてもらえるか。小川

**公害防止施設  
見学できるか**

質問：公害防止協定で、行政側の立入り権を定めており、町長もしくは町長の権限で立入りができることになっているが、しかし、「一般の方が町の担当者」ということであれば、現在結んでいる公害防止協定で取り決めたものでは基本的には崩れることになるので許されない。したがって、みなさんが非常に疑問や関心があつて直接立入りたいという場合は、企業と直接交渉していただかなければならない。しかし、それでも企業が立入りを拒否したという場合は、町へその旨の要求をされることによって、町がみなさんに代わって調査したり、あるいは企業に報告をさせたりするということになる。町長

質問：総量規制については私も当然そうあるべきだと思うが、た

**一般質問**

**公害防止策  
再考の余地ないか**

質問：公害防止については、あらゆる角度から考慮をめぐらし、先手先手の策を講じていたが、たまたま、排出量については第二次の防止協定として総量規制方式をとるなど、建設計画書提出段階で必要以上と認められるくらいの取り決めをするところをたいせつだと思いが、再考の余地はないか確かめよ。洲尾

答弁：総量規制については私も当然そうあるべきだと思うが、た

だ、長浜の場合は非常に発生量が少ないので、これをおこなうことが現実的であるかどうかは疑問であり検討の余地があると考える。しかし、将来発生量が增大してゆく可能性があればその必要はある。なお、四十八年度は亜硫酸ガスやイオウの自動測定器などを設置したり、海上防災のためにオイルフェンスを構えることなどを考えている。町長

**国道昇格運動に  
片手落ちないか**

質問：先般地元出身のある代議士と話したところによると、国道昇格の話は県からは聞いていないが町からは聞いていないということであつたが、片手落ちの運動がなされていたのではないか。また、先般の行政連絡会で、私の任期中に実現すると答えていることでもあるので慎重に取り組んでぜひ実現させていただきたい。二宮

**学費負担に配慮を**

質問：入学を間近にひかえて学費に悩む家庭は多い。そこで、たとえば入学祝金とか補助といった精神的にも物質的にも万人が喜んで義務教育が受けられるような教育費支援の配慮が必要と思うが、どう考えるか。また、社会科の副読本は多くの市町村が公費で負担し無料である。当町も実施されたか。洲尾

答弁：国がもっと教育費を市町村に援助してくるべきだと思ふ。たとえば町においても学校を建てる場合など国の援助が少なく、一般財源をつかわなければならぬといった実情である。町長

「長浜のくらし」は無料でも配付しているが、四年生用「えひめのくらし」については、必要性に疑問があるのでも無料にしている。なお憲法にいう「無償」とは、どこまでの範囲かが問題だと思ふ。教育長

**今坊沖の砂利  
採取について**

質問：今坊沖の砂利採取については、長浜町漁協の理事と幹事七人のうち四人は反対している実情だが、理事者はこれを知つていて同意したのか、それとも知らないで……。小川

答弁：漁業組合の総会や役員会において民主的な方法で決定されたことを、町が拒否したり訂正する権限はない。しかも、「同意」といっても、この場合はあくまでも法的な権限による同意ではなく、經由機関として義務上受け付けたまでのことである。町長

# 表彰\*\*\*

## 井内さんら 7人・一団体

つぎの方々は、それぞれ社会福祉の向上のために功績があったことにより、さる三月二十六日、町体育館で開かれた第八回長浜町社会福祉大会の席上、町長および社会福祉協議会長から表彰されました。敬称略

- 【町長表彰】井内キヨカ(長浜・六十一歳)、沖野要(櫛生・七十三歳)、本田信子(出海・六十五歳)、藤岡啓子(豊茂・三十九歳)、久保田芳枝(白滝・七十九歳)、柴中重亀(柴・八十四歳) 窪美恵子(柴・五十五歳)
- 【社会福祉協議会長表彰】長浜高校VVS

## 後藤さんら6人

つぎの方々は、公民館活動に功績があったことにより、さる三月十四日中央公民館で開かれた第六回長浜町公民館研究大会の席上、教育委員会から表彰されました。敬称略

- 後藤熊市(今坊・六十三歳)
- 酒城茂基(出海・五十一歳)
- 東富幾子(下須戒・五十三歳)
- 長浜二十四区の安西登さん(四十七歳)：パチンコ台五台と玉三千コを老人ホーム白山園へ。
- 長浜中学校生徒徒会：浪曲のレコードLP盤二十三枚を老人ホーム白山園へ。
- 長浜三十三区の黒田愛子さん(六十九歳)：「病氣見舞返しのかわりに：」と現金一万円を長浜町社会福祉協議会へ。
- 長浜十二区の本田定さん(四十歳)：「長浜保育所用に：」とガス湯わかし器一台(一万四千九百円相当)を町へ。
- 長浜保育所母の会：「長浜保育所用に：」とガス湯わかし器一台(二万八千六百七十円相当)を町へ。
- 長浜十四区の堤正和(三十七歳)、同四十四区の岡成美(四十三歳)、同区の松岡善作(五十七歳)、同八区の下昭治(四十五歳)、同十六区の熊野熊雄(六十八歳)さん：「長浜保育所用に：」とカラーテレビ一台(20型)を町へ。
- 大和保育所母の会：「大和保育所用に：」と室内すべり台一台(八千円相当)を町へ。
- 白滝の清水義正さん(三十九歳)：現金五万円を長浜町社会福祉協議会へ。
- 豊茂の大本春明さん(五十一歳)：現金三万円を社会福祉協議会へ。また、金一封を豊茂公民館へ。



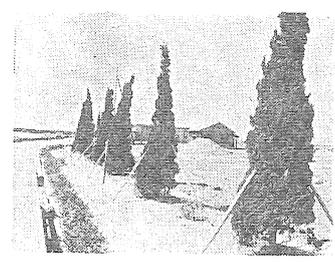
## 寄付

- 櫛生保育所父母の会：「櫛生保育所」に：セパレトス、テレビ一台(時価五万九千五百円)を町へ。
- 長浜二十四区の下昭治(四十五歳)、同十六区の熊野熊雄(六十八歳)さん：「長浜保育所用に：」とカラーテレビ一台(20型)を町へ。
- 大和保育所母の会：「大和保育所用に：」と室内すべり台一台(八千円相当)を町へ。
- 白滝の清水義正さん(三十九歳)：現金五万円を長浜町社会福祉協議会へ。
- 豊茂の大本春明さん(五十一歳)：現金三万円を社会福祉協議会へ。また、金一封を豊茂公民館へ。

## 開発日誌



- 3・5 晴海団地町有地 三百二十・二九九平方メートルにグリーンベルト造成。員塚十一本、ハマヒサカキ五百二十五本、トベラ七十二本を植える。
- 3・28 開発公社役員会ひらき、四十八年度事業計画や予算を可決。



↑サカキ ↑トベラ ↑員塚

## お誕生おめでとう!!

- 三月届出分(敬称略)
- | 住所 | 保護者氏名 | 続柄 | 児名     |
|----|-------|----|--------|
| 長浜 | 松野    | 恒生 | 長男 康治  |
| 長浜 | 西野    | 秀雄 | 二男 美生  |
| 長浜 | 松村    | 博二 | 二女 美由紀 |
| 長浜 | 竹内    | 繁二 | 二男 智次  |
| 長浜 | 岩田    | 敬二 | 二男 智英  |
| 長浜 | 岡城    | 陸男 | 長女 由紀子 |
| 今津 | 仲尾    | 孝志 | 長男 一寿  |
| 沖坊 | 岩井    | 博幸 | 長男 融   |
| 下須 | 澤井    | 融  | 長女 美幸  |
| 須沢 | 中川    | 利明 | 長男 幸司  |

## おくやみ

- 三月届出分(敬称略)
- | 住所  | 死亡者氏名 | 死亡時年齢 |
|-----|-------|-------|
| 長浜  | 竹内 敦徳 | 六十歳   |
| 長浜  | 久保 吉衛 | 七十九歳  |
| 長浜  | 綿木 壽衛 | 八十歳   |
| 長浜  | 辻馬 太郎 | 六十六歳  |
| 長浜  | 二宮コノエ | 六十六歳  |
| 宇都宮 | ハル    | 七十七歳  |
| 清水  | 作見    | 八十一歳  |



「江戸ッ子は五月の鯉で口ばかり」という川柳がある。五月晴れの空にさわやかに躍る鯉のぼりのその一番の見どころは大きく開いて清風を腹一杯に吸い込むその口元にあり、その代わり腹には1物も止めぬカラッポのさっぱりした姿。江戸ッ子気質にぴったりなところをいい得て妙 ▲言論の自由情報化社会の時代にはいって、議論や批判、さては非難苦情は江戸ッ子ならずとも江戸ッ子以上の勇ましさになったようにみえるが、どうも五月の鯉のようにさっぱりしたところが感じられないのはどうしたことであるか ▲理屈のならば方は非常にうまくなり、自分の考えや主義主張をこれでもかこれでもかと説得力あるかのごとく述べたてるのであるが、なんとなしに飲み込みにくいものに行き当る気がするのである ▲いってみれば、「腹に1物手に荷物」を感じさせるのである。そして、たいていは議論のおしまいに社会が悪い、政治が悪いと締めくくられているようである ▲社会だとか政治だとかいっておれば特別の個人に差しさわりが生じないからいいやすいのであろうが、考えてみるとこれほどへんない方はないような気がする。封建時代はいざ知らず民主主義の現代日本の社会や政治は、みんなお互い個々のより集りてやっているのではないか ▲社会が悪い政治が悪いと主張する人間は、自分ひとはよくて、自分以外の全部の者は悪いといっているようで、そのいい方が利己主義、独善主義に聞こえるから五月の鯉のようにさっぱりした感じを与えないのかも知れない。

## 3月末人口世帯数

<p>■ 13,942人 (男6,572人 女7,370人)</p> <p>3月中の異動= 転入 76</p> <p>・出生 13 ・職権記載 3</p> <p>・転出 205 ・死亡 8</p> <p>=92人増 213人減 =121人減</p>	<p>■ 3,869世帯</p> <p>3月中の異動=転入14</p> <p>・世帯分離 5 職権記載 1</p> <p>・転出 24 ・世帯合併 4</p> <p>=20世帯増 28世帯減 = 8世帯減</p>
--	--

